



広島支部・会報「ひびき」の誕生秘話

中尾 勇

☆支部誕生の秘話



平成4年当時の通信システム事業本部の退職者にとって、社友会・本部の各種会合の参加は「時間的・経済的」にも制約があり【広島支部】結成は永年の念願事項でありました。

当時退職者僅か14名ではボランティア活動の負担が大きく支部設立は困難と本部の見解もありましたが、平成4年10月に【社友会合同懇親会】が箱根湯本「ホテルおかだ」で開催された折広島より、山田さん・新田さん・私の三名が急遽出席し古藪会長・二代目太田会長に支部設立の必要性・実情の説明に出向き懇願すると共に、当時の顔馴染みの本部役員各位にも広島支部設立のお願いする機会が持たれ、又、元常務の石井寛二・初代支部長の本社機構・社友会本部に働きかけて頂き、平成5年7月15日に念願叶い広島支部が誕生致しました。

☆支部会報の誕生 ←ここをクリックすると創刊号が見えます。

支部誕生により、活動の記録・会員に対する情報伝達のため支部会報の作成を企画し、会報名称・会報形態を取り決めましたが当時は「パソコン・デジタルカメラ・カラーコピー機」は無く、文章は「ワープロ」で作成し、写真は普通のカメラで写したものを現像焼き増しの上会報の掲載場所のサイズに縮小コピーして、B4の会報サイズの用紙の対象部分に貼り付け、挿絵は片桐さん・木船さんの作業として記入され、完成した会報を一般会員に配布のため出来上がった会報原紙をコピーすると、写真部分が真っ黒・顔認識不能？ 写真の正常白黒画像とするために会社出入りのエイト写真工房の徳永さんのアドバイスを頂きやっ

上の写真が会報に掲載することが出来ました。

広島支部・会報名称『ひびき』の決定。
名付け親 阿川 忠亮氏

語源：辞書には、音響・こだま・傳播する振動とあり、私達の永年勤めた「音響・通信」と言う音に関係した職場であることより、定年後の生活に情報の伝達と会員の元気な声を響かせ意識を強めることを意図し採用しました。

地模様：広島といえば安芸の宮島、宮島は鹿と紅葉、紅葉の青葉も美しいのですが、秋も深まり落葉前の錦に輝く紅葉は、殊更美しいものです。私達、社友会・会員も、人生の大仕事を終え、第二の人生を輝かしく終わるため、日々努力している姿を錦に輝くもみじの葉を図案化して地模様に使いました、実際は白黒のため、錦の紅葉とは見えませんが・・・

主要記事

- 1面 広島支部・会報「ひびき」の誕生秘話
- 2面 Hibiki50号に寄せて
- 3面 春夏秋冬
- 4面 役員会便り・地区担当委員報告
- 5～10面 HOW DO YOU DO
同好会報告
- 11面 社友短針
- 12面 定期総会のご案内
2009年新春年賀会報告
新入会員の紹介

発行 シャープ社友会広島支部
支部長 吉久清春
電話・FAX共通：082-420-1728
〒739-0192 東広島市八本松飯田2-13-1
E-Mail：shayukai-hro@bz01.plala.or.jp

「ひびき」50号発刊に寄せて！！

元支部長 山田 順



まずは「ひびき」50号発刊おめでとうございます。

顧みれば支部発足が平成5年7月1日。そして「ひびき」1号が10月1日でありました。

当時は本部をはじめ既成支部の実状を見習いながら会員相互の親睦と、同好

会活動を中心に楽しい交流の場とする事に懸命でした。そして発刊以来早や15年、長い様で短い年月が過ぎました。

その間初代石井支部長がお亡くなりになる等紆余曲折はありましたが、歴代支部長と執行役員の方々のご尽力により素晴らしい支部に成長致しました。心よりお喜び申し上げます。

今後は益々のご発展をご期待申し上げると共に、会員の皆様には気力・意力・体力の充実を図り、大田元会長が言っておられた“有意義な人生”を送ってください。

活動の飛躍への提言

前支部長 出口 昌孝



シャープ社友会も創立30年を迎える年であり、又、平成5年7月広島支部を結成し早や15周年、更に支部会報「ひびき」発刊第50号と重なる記念すべき年でもあります。

平成8年5月定年後入会、その年第3回支部総会に出席して以来2年後に「世話役」として7年間の会運営に参加させて頂き、その後「顧問役」として現在に至っています。

会社組織とそれを取り巻く環境で培われ定年後の残りの人生を意義あるものにと「会の目的」を念頭に同好会活動を基軸に定着発展の道筋と関連マニュアルを整備し、活動サイクルも安定期に入り継続されています。

しかし会員数14名から300名規模へとなり、更なる発展には「年齢幅の広がり」に沿った活動の提供を含めた飛躍期へと脱皮が迫られています。

更に加えて、100年に1度と称する「世界的金融危機」の煽りで我々の活動基盤となる会社の経営環境の急変に対応した寄与活動の具現化等、社友会として協力して行く感度の高揚も急務では無いだろうか。

こんな事など気になっている今日この頃です。

50号記念として

支部長 吉久 清春



50号発刊おめでとうございます。発刊50号と一口で言ってしまうとそれまでですが、ここにたどり着くには、育ててくれた諸先輩、色々な人の手助け、皆々様のお陰だと思っています。本当にありがとうございました。

この“ひびき”が生まれて早や15年余り、木の年輪の如く年を重ねるに従い充実してきました。木も年輪を立派なものにしようとするに堆肥と温かい太陽が必要です。“ひびき”もそれと同じ様に内容を良くするためには、皆さんからの原稿と編集に携わるスタッフが居てこそ出来上がるものです。

よき先輩がこつこつといい筋道を付けて頂いたお陰で今日まで立派に続いて来ました。また、編集スタッフも興味と熱意ある人が係わり、1年に4回の発行を可

能にしてきました。社友会の役員の中で一番忙しい部門でしょう。ご苦労様です。

最近の刊行紙を見ると文章より非常に写真が多く取り込まれています。縦書きが横書きになり、文章の流れに写真が入る。単に文字が並ぶのではなくその中にデザイン性も取り入れ、写真を使ってレイアウトされている。これが新しい流れのように思え、本誌も49号からは横書きを採用し“ひびき”の機関紙名をハイカラ（High Color）なローマ字を使った近代的な物に替えました。

これを機会に、同好会の活動報告だけでなく、高齢になって行く会員に対するサービス情報や遠方の会員情報、地域で活躍される会員の情報などを取り込み、載せる検討をしていきたいと思っています。

みなさまの温かいご支援とご協力で、読んでいただける機関紙に育てて頂きますようお願い申し上げます。

50号発刊を記念してお祝いと感謝の言葉といたします。



！初めてのボランティア体験記！

代表幹事 山口春香

2004年9月30日～10月3日の4日間、広島カントリークラブ八本松コースで日本女子オープンゴルフ選手権大会が行われましたが、実はその前年アマチュア乍らプロのトーナメントで見事優勝を果たし彗星の如くデビュー、この後2004年入ると3月の開幕戦、ダイキンオーキッドレディーズでいきなり優勝、その後も勝ち続け、人気、実力共に第一人者に成長した宮里藍。

更には前後してデビューし、豪快なスイングが魅力の横峯さくらも参加するとあって事もあろうにボランティアとして参加しました。



初日、9月30日集合は何と7時20分、私の分担はホールマーシャル（ギャラリーの整理や、選手がショットする前に“お静かに！”）で受け持ちは17番ティーグラウンド。

ところが前日の29日、運悪く広島地方は台風29号の襲来を受け、心配したのですが、当日ゴルフ場に到着すると、コース内は協議関係者の手で徹夜、大方は修復されてはいたものの、折れた木の枝や木の葉が未だ多く散乱していた事から、先ずはホウキを持って1時間掛けてコースの整理から始まりました。

それが終わって愈々17番ティーグラウンドへ、少し待ち時間はありましたが古閑美穂、諸見里しのぶ、宮里藍、そして午後に入って北田瑠衣、不動裕理そして横峯さくら他、そうそうたるメンバーが豪快なショットを残して目の前を通りすぎていったのです。

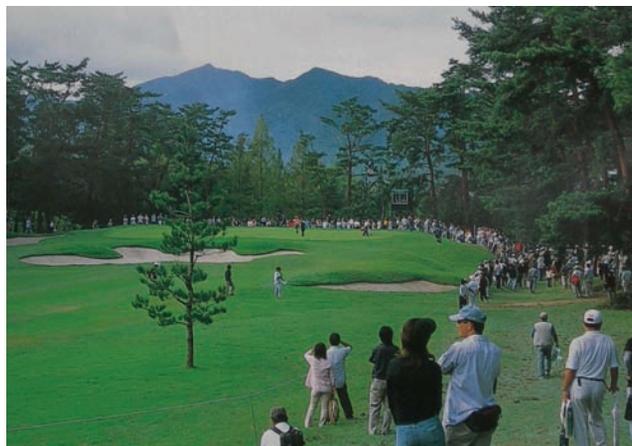
宮里藍、横峯さくら、共に155cm、あんなに小さくて華奢な身体でどうして250ヤードも飛ばすのだろう！感心したり、訳も無く感動したり・・・。
そして気になった事ですが、選手の中には晴れやかな舞台にも拘らず普段着の様な地味な服装の選手が何と多かった事か。

更には横峯さくらの場合には芳郎パパがキャディを務めるのは当時すでに知れ渡っていましたが他にも親子、或いは兄弟と思われる様なコンビも多く、家族で支え、又家族の期待を一身に背負って参加しているのだな～と感じた次第。

毎週場所を移して開催されるトーナメントに参加する為には、交通費はもとより数日間の宿泊、参加費、キャディ帯同ともなるとトーナメントに1回参加するだけでも数十万円にも上るのでは？とも思われますが予選落ちともなると獲得賞金は“0”、そんな事を考えると年間30トーナメント程度参加した場合、1,000万円稼いでも必要経費でトントンでは？

一方その1,000万円稼げる選手は数多いプロの中でも当時で50人程度、一握りの花形スターがいる一方で大半の選手は優勝する日を夢見て地道な努力を重ねているのだな～と思知らされたボランティア初体験でもありました。

尚、余談ながら宮里藍はこのトーナメントでは連戦の疲れからか初日75、2日目81計156の12オーバーでこの年初めての予選落ちとなり、決勝戦を楽しみにしていたファンの前で彼女の姿を見る事は出来ませんでした。



役員会便り

代表幹事 山口春香

※会報“hibiki”を 新年号からデザインを一新致しました。(詳細はHibiki49号参照下さい)

※2009年新春年賀会・・・2009年1月22日開催

参加者88名(社友会 81名、紅葉会 7名)

本年も昨年同様、本部で実施の新春懇親会のテレビ同時中継に参加致しました。

この中で、第1部では社友会蛇草会長、シャープ(株)片山社長のご挨拶があり、第2部では辻相談役から出席会社役員の紹介、第3部 支部年賀会が行われましたが、ここでは蛇草会長とシャープ片山社長のお話のポイントのみ紹介いたします。

[社友会 蛇草会長挨拶骨子]

百年に一度と言われる厳しい経済不況にも拘わらずかかる新春懇談会を持つ事が出来、皆さんと一緒に喜び合いたい。社友会としても何か会社へお返しをし、お役に立てる活動をして行こうと決意しています。本部、支部、力を合せて行きましょう。

[シャープ株式会社 片山社長]

大不況に怯える事無く正しい戦略で邁進していく。今年一番はソーラーを挙げるが正しい選択だった。

そのほか当社には環境、省エネに貢献するLED照明、

マイナスイオンエアコン他、次世代を担う商品群を数多く持っている。

苦しいのは何処も同じ、ネガティブに捉えず全社員が果敢に挑戦していきますのでOBの皆さんも応援ください。

※春の日帰り旅行。

昨年は広島支部発足15周年と言う事もあって、年初から秋の旅行を2泊3日として沖縄旅行を計画した事から春の日帰り旅行を取止めましたが、今年は例年通り春は日帰り、秋は一泊旅行を実施する事にしました。

① 春の一泊旅行

日付：平成21年4月23日

目的地：嵐山・渡月橋・京都御所

今回は天皇皇后両陛下ご結婚50周年記念、京都御所特別公開と言う記念行事が予定されている事から選定したものです。

本件、会報次号で様子等報告できると思います。

② 秋の一泊旅行

皆さんがあまり行っていないような穴場の候補を色々検討している最中です。

決り次第、ご案内致しますのでその折は参加方よろしくお願い致します。

地区役員報告

地域担当・企画担当幹事 山根 行雄

中国地区会員数合計	96						単位：名		
広島地区	50	山口地区	10	山陰地区	10	岡山地区	13	四国地区	13
		内広島	40	内福山	10				

平成17年7月に地区委員制度が発足して早くも4年目を迎えようとしています。総会員数の3割を超え、発足時の44名から3年半で2.2倍と大幅に増加致しました。今後、団塊の世代のリタイアに伴い増員スピードの更なるアップが見込まれます。その為、地区会員相互の親睦強化・健康増進に向け、会員間の情報交換の促進をよりスピーディ且つスムーズにして行くことが肝要となり各地区で地区委員を中心に情報交歓会〔OB会〕の開催などを通じ、社友会のネット作りを地道に進めてゆくことが喫緊の課題となります。現在、地区委員や社友会会員が中心になり、各地区にて親睦OB会やイベント実施等企画実施に向け鋭意取組中です。

(広島地区)

社友会会員メンバー10数名が中心となり、年初に世話人会を開き、昨年好評であった「銀河クルーズ」による総会懇親会の開催に続き、9月度に第二弾の新企画にて「第6回ゆうゆう会 懇親の集い」の開催準備を進めています。

更に、社友会メンバーが中心に第12回シャープ設備OB会を10月度呉市にて開催計画中。

(山陰地区)

山澤地区委員を中心に、4月度に米子地区で「第3回社友会山陰地区会」の開催を準備中です。

(山口地区)

松田地区委員他数名の社友会会員により、7月度、下松(健康パーク)にて第2回「山口シャープOB会」の開催実施にむけ、アタック中です。

(岡山地区)

池田地区委員他数名にて年3回の社友会・非社友会員合同の親睦ゴルフコンペの開催を計画し、4月末に「吉備高原カントリークラブ」で「第14回岡山SHゴルフコンペ」大会実施に向け準備中です。

(四国地区)

現在、地区会員13名で4県下に分散在住の為、遠距離にて一堂に会して社友会会員の地区会開催が難しく、四国シャープビル勤務のOB会の開催に合わせ地区委員や補佐役〔検討中〕ほか社友会員が参加戴き、親睦・情報交換促進と併せ、非会員様などの広島支部参加呼びかけを実施して行くことが必要であり、これにあわせ四国地区会員の尾崎功氏が四国エリアのOB会メンバーを熟知されている事から、地区委員の業務を来期には谷井さんから尾崎さんへパトンの引継ぎ調整中です。

最後になりましたが、今後とも、会員の皆様の一層のご協力を賜り、社友会活動に尽力して参りたく、宜しくお願い申し上げます。

ゴルフ

最後よければ、すべてよし
目標を定め戦略的トレーニングを

出口 昌孝

第118回コンペは、2008年度最終戦で今期の「グランドチャンピオン賞2008」も兼ねグランドチャンピオンエントリー13名の熾烈な戦いも予想され、また2009年度グランドチャンピオンへのエントリー資格1号の思惑もあり、二ヶ月間の自主トレ成果を期待して「やる気」充分のコンペをスタートした。

本日の天気は、予報では「終日雨、午後より雷も・・・」と昨年と同じケースでは・・・と予測し、競技時間短縮の為初めての1ラウンド休憩無しのスループレイとしてスタートしました。

ところが天候は運良く小雨で途中では陽射しも伺え、コース上には湯煙りがあがり、恰も温泉光景の一齣もあり、お陰でコンペは午後4時過ぎで散会できました。その後夕刻より予報通り大雨となった。

コンペ結果は、小雨によるコンディションとスルー

プレイの為か？はた又、乗用カート無しスタミナ切れの影響もあってか？1オーバー優勝の戦略的勝利で前回コンペのリベンジが出来た。

「グランドチャンピオン賞2008」は今回単独で山内さんに輝きました。

今回より「山本達雄さん」の加入もあり、年齢もひとり以上開きとなり歴史感のあるコンペに成長しました。

次回第119回コンペは4月13日（金）宮島志和CCで平成21年度開幕戦（恒例の桜は？）

第120回コンペは5月8日（金）安芸CC

第121回コンペは6月10日（水）瀬戸内GR

第122回コンペは7月23日（木）東映CC（東映シニアカップ）へも参加を計画しています。

以上で平成20年度は終了し、各自新たに目標と意気込みをもって来期へ張り切っています。



第118回コンペ

準優勝 優勝 第3位
嵐さん 出口さん 井上さん

平成20年度 第10戦の成績

(NETスコア)

第118回コンペ(18H)								
(2009年3月13日 賀茂C/C)								
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	出口	+1	17	中村	+8	33	岩垣	+13
2	嵐	+1	18	徳永(文)	+8	34	山脇	+13
3	井上	+2	19	鈴木	+9	35	佃	+14
4	松本(邦)	+3	20	沖田	+9	36	奥村(昌)	+14
5	松見	+4	21	小谷	+10	37	車角	+15
6	山内	+5	22	稲葉	+10	38	河上	+17
7	桂	+5	23	津郷	+10	39	西尾	+18
8	中下	+5	24	山口(剛)	+11	40	明石	+18
9	山本(達)	+5	25	矢野	+11	41	細田	+19
10	末沢	+6	26	益田	+11	42	村重	+27
11	弓井	+6	27	塩安	+11			
12	佐々木	+6	28	渡辺	+11		OUT / IN	
13	廣瀬	+7	29	谷口	+12		嵐 / 山内	
14	山本(善)	+7	30	勝山	+12	N.P	鈴木 / 沖田	
15	伊藤	+8	31	村上	+12		松見 / 松本(邦)	
16	杉山	+8	32	山本(博)	+13		出口 / 山内	

絵手紙

暮らしの美を絵手紙に！

川田 正勝

今期の活動も3月で終わりです。

昨年の4月から毎月1回（第4土曜日）に社友会室で迫谷先生の創ってもらったカリキュラムに基づき楽しく絵手紙創作を描きました。

今年は新しく2人が参加しました。観るだけではつまらない、実際に描いてみたいと参加されました。

絵手紙五つの心得 ①ヘタでいい、ヘタがいい

②実物をよく見て描く ③下書きなしの一発勝負

④描いたら出しましょう ⑤暮らしの美を見直そう

に基づき楽しい一時を過ごしました。

今年は外部での発表会は会場の都合で行いませんでしたが夏のサマーフェスティバルに参加し会場の出入口で展示しました。皆さんからは好評でした。しかし次年度はギャラリーで発表したいと思います。

また2月には、熊野の筆の里工房へ絵画展を観に行

きました。あいにく絵手紙の展示はしていませんでしたが有意義な1日でした。

これからも外へ絵手紙を観に行きたいと思います。数ある同好会の中で唯一の絵画ですので、気軽に参加をおねがいます。



あるこう会

ウォーキング・フォー・ミー； ウォーキングを楽しく！

松見 弘

健康の基礎となるウォーキングを定年退職後始め、勿論同好会“あるこう会”にも加入。何か新しい発見（遺跡、地名、名前他）を求め、歩けることへの「感謝」の心を持って取り組んでいます。又変化を持たせるため家から東西南北4つの方向へのルート（約1時間の距離）を決め、今日はこっちと気が向くままデジカメを首に掛け楽しみながらウォーキングをしています。ただ、道すがらゴミの放置が多くなって来たのが気がかりであり残念です。

さて、あるこう会の今年に入ってから活動を以下簡単にご報告します。

* 豊島大橋往復ウォーキング（1月17日実施、参加者30名）

* ようよう坂町
ウォーキング
（2月7日実施、
参加者25名）JR
呉線にて坂駅
へ。2コースに
分かれて実施。



しっかりコース（ずぶう・ベイサイドコース）

良く整備された遊歩道（所々に険しい坂あり）を通ってずぶうみはらし公園へ。そこで広島湾の絶景を楽しむ。

ゆっくりコース

海岸に沿って歩き横浜公園へ（なぜここが横浜公園なのかは不明）。公園の梅林が満開で綺麗であった。

* Discover West ウォーキング（2月21日実施、参加者31名）

JRにて広島駅に集合。ガイド付き“メモリアル市民球場&夢の器新球場をめぐるコース”のツアーに参加。メモリアル球場では普通見られない場所を幾つか見学。よい思い出となった。最後に全員参加証のカードをゲット。

ツアー後はあるこう会独自にて護国神社や縮景園等を見て廻った。

これからも楽しいウォーキングを続けましょう！！



パソコン

ITブームと共に！

車角 裕規

「Personal」がついたコンピュータが爆発的にブームを巻き起こしたのは、1995年11月に「Windows95」のオペレーションシステムが発売されてからです。このシステムを搭載した「パソコン」が市場に登場するやその勢いはさらに加速しました。初期のパソコンが、「コマンド」と呼ぶ命令語（もちろん英語）を入力して初めて作動することに比べ、クリックするだけで操作が完了するシステムはまさに驚天動地の世界でした。

これからはITだ！と、政府も調子に乗って自治体の尻をたたき、各地で「パソコン入門講座」を抽選で選んだ住民を対象にレッスンを始めました。

しかし、結果としてそのレッスンは途中頓挫や理解そっちのけのスケジュール講座の典型で、必ずしもIT社会到来への近道では無かったようです。

当同好会は、そんな背景の中の1999年7月に発足しました。本年が節目の発足10年にあたり、同好会の運用も刷新すべき時期と考え、パソコンを利用する目的が多様化している状況に対応しかつ、一律に同一テーマでの講座主体の同好会から脱却を図るべく検討しています。

一方、パソコンの性能や機能、アプリケーションの充実、さらに通信環境の改善もあって、いまやパソコンは万能に近くなった感もあります。

そこで、同好会会員の方々に聞きました。「いまどきのパソコンで、自宅でできること」教えてください。（掲載順不動・勝手選択&表現）

インターネットでは・・・

ホームページ・ブログなどで情報の発信。広告掲載による副収入。各種情報の検索と掌握。預貯金などの資産管理。航空機・船舶・列車などの予約チケット手配と支払処理。旅館・ホテルの予約。保険の加入。高速道路・航空などマイレージ管理。株式の売買。電子メールの受送信。無料の電話を使う。芸術を鑑賞する。音楽を買う。写真プリントの発注。確定申告の届出。有料・無料のアプリケーションのダウンロード。グループでのネットミーティング&チャット。ネットオークションへの参加。サイバー大学入学・受講。

アプリケーションを使って・・・

作曲する。絵を描く。テレビを見る。DVDを観る。CDを聞く。これらをコピーして、再度楽しむ。ダウンロードした音楽の視聴用形式変換。ムービーを鑑賞する。ムービーを編集する。静止画像の管理・静止画像のレタッチ。静止画でムービーを作る。A3~L版の写真プリント。世界を地図旅行する。各種の文書の作成。各種の計算書の作成。プレゼンテーション資料の作成。郵便の宛名を印刷。有料・無料のゲームで暇つぶし。木工用設計図の製図。

ただし、弊害もある。視力が落ちる。姿勢が悪くなる。漢字を忘れ表現力が低下する。などなど注意が必要。最大の問題は体力・筋力の低下。何事もそうだが、程々が肝心。併せて、最高強度のセキュリティ対策。

ダンススポーツ

指導者が交代しました

江頭 敏晴

これまで三年余り初歩からご指導頂いた松田先生が、昨年末を以って専任の指導を交代される事となり、今年から主として小野先生にご指導頂く事になりました。その他に、従来どうり松田先生、高藤先生にも随時参加頂き、幅広くご指導頂ける事に成りました。

小野先生は社交ダンス以外にもフラメンコをはじめ世界の国々のダンスに挑戦されており、大変ご多忙のところをお願いしており、出席できない場合は他の二名の先生方が交代で指導して頂けるようにしています。

さて、活動の方は今年から小野先生ご指導の下にサンバに挑戦しております、今のところステップを覚えてもこの独特なリズムに硬い身体がついてゆくのがまだまだの状況です。他にもワルツの難度の高いステップにも挑戦中です。今年の年末ダンスパーティーではサンバもかっこよく踊れるようにしたいと思っています。

今年も新しい女性会員が二名増えました。



ものづくり

安全第一を基本に会運営

梅田 正明

この期間の1月の第一火、金曜日は年始につき休会としましたが、それ以外は月4回の活動を続けました。会員はそれぞれに身の回りの実用的なものを中心として自分のテーマを決め、苦労しながら計画通りのものを完成させ、快適な生活の一助にしているところです。

また、2月3日には、機械を使うに当たっての安全についての話し合いを行い、安全作業を再認識しました。その一環として工房の壁に写真のように安全標語を掲げ、各自が始業前にこれを読み内容をよく理解し

て気分を引き締め作業に取り掛かるようにルール付けしました。その標語は、「安全第一」「起動前にひと呼吸、安全よし！ 設定よし！」「刃に手を近づけるな！ 刃の近くは押さえジグ使用。」「ちょっと待て！ その手が滑っても大丈夫？」



その手が滑っても大丈夫です。

1~3月の会員の作品は、整理棚類、飾り小物、踏み台、日本みつばちの蜂箱、ティッシュペーパーケース、液晶TV収納キャビネット、犬小屋、ベンチ、大しゃもじ、まな板、猫ハウスの台、鳥かご、内障子、机のリフォーム、ペン立て、風力発電機の試作検討・・・等様々です。

今後もけがの無いように気をつけて活動し、会員相互の親睦を図り、楽しみながら生活に役立つ作品を作っていきたいと思っています。



グラウンドゴルフ

興味津々見学者が増！

水谷 正弘

本年は1月16日から練習をはじめました。3工場のグラウンドは霜降りがあり少しぬかるむ状態でしたが、天気は良く、楽しく良い運動になりました。

又新しく由井さんが入られてコースを8回まわり休憩を挟んで2時間を過ごしました。

年賀会後の1月23日には水谷が3回、小倉さんが1回止まり（ホールインワン）を出し今年も頑張ろうと気持ちを新たにしました。由井さんも広島からこれ来て張り切ってコースを廻られました。

1月29日は雨の後の為グラウンドの状態が悪く中止。2月に入り2月6日には坂田さんが『見学に来たよ』と飛び入り参加され、7名のメンバーで『力が入りすぎた』、『地球を叩



いた』ピタリとボールの足に引っかかり『惜しかった』など賑やかにコースを廻りました。2月13日には9回コースを廻り終わろうとした最後の最後で河上さんが止まりを出し、グラウンドゴルフをやっているのを実感しました。

寒い季節ですがグラウンド半分を何回も廻ると結構歩くことになり適度な運動になります。天気の良い日は歩くだけでなく少し競技をしながら運動をされたい方は気楽に参加されたら良いかと思えます。道具は体験用に用意がしてありますので、金曜日の朝10時から3工場のグラウンドへお越しください。

暖かくなりましたら白竜湖の近くのパークゴルフ場にてプレーを予定しております。



囲碁、将棋

油断大敵新人強し！

山口 春香

3月度の活動日は月開け早々の2日、早い人は10時前後に来られる為、私は準備を兼ねて多少早めの9時50分頃に社友会室に入ったのですが、いつもは10時半頃出勤の鈴木さんが今日はやる気満々なのか？早々と10時に入室、早速世話人との対局と相成りました。

鈴木さんとは40数年来の付き合いだけに負ける訳にも行かず最後まで熱戦。そうこうしている間に相馬さん、由井さん、河上さん・・・。

今年は先月来、賑やかな活動日となっています。

紹介が遅れましたが先月から由井さんが半年ほど前から囲碁を始めたとの事で当同好会に入会してくれたのですが、現役当時は経理畑でしたので先々を読むのが得意な様



で、これが囲碁にも役立つ様子で、実は何を隠そう、かく云う世話人は心に油断があったのか？先月、初対戦で見事に黒星を喫した次第、次回は何が何でも負ける訳には行かないな〜と心を新たにしている次第。

ワイワイ世間話も交えながら楽しくやっています。毎月第一月曜日10時半からやっていますので時間の取れる方は皆さん覗きに来てください、お待ちしております。



写そう会

写そう会活動報告

中西 康憲

本年1月に開催された社友会新春年賀会において写そう会会員の作品を展示し、年賀会に出席された皆様には様々なご評価やご意見を頂きました。写そう会メンバー全員新たな目標を持って本年の活動をスタート致しました。



2月には本年最初の撮影会を実施いたしました。開催場所は山口県光市の冠山公園にて梅の撮影会を行いました。

当日はモデル撮影会も行われるとあって多くのカメラマンが集まり、梅見の人々と相まって大変な人出となり、メジロを脇役に梅の花を撮ろうとしても肝心のメジロが落ち着かず難しい撮影会となりました。

夕方には瀬戸内海では数少ない“だるま夕日”ポイ

ントで夕日の撮影会を試みましたが、当日は最悪の黄砂の影響で夕日が撮影出来る条件ではないと判断し早々に切り上げました。

いつもながら感じることは、天気が自由に操れたらとは思いますが、写真の神様は何度となく通うことで良い写真が撮れるのだと言っているのではないかと諦め、またのチャンスに願いを込めて家路につきました。

又、3月には写そう会の総会を開催し新リーダーの選出並びに2009年度の活動計画の審議を行いました。

新リーダーは小野 勲さんが選出されサブリーダー(中西)広報・会計(辻)は再任され、新体制にて2009年度の写そう会活動を盛り上げて参ります。



山歩会

山歩会 第8回例会『宮島弥山』登山

山根行雄

当初2月24日(火)の予定でしたが悪天候の為、3月31日(火)に順延実施。今回は「山歩会」メンバー14名(内女性2名含む)と特別参加3名(あるこう会1名、ダンス同好会の女性2名)の総勢17名の参加者が午前9時宮島口棧橋に集合。好天に恵まれJRフェリーで厳島へ渡り、厳島棧橋広場でストレッチ体操を行った後、満汐に浮かぶ安芸大鳥居をバックに記念撮影。枝垂桜や千畳閣・五重塔を眺めつつ真言宗・御室派の名刹「大聖院」へ参詣、薬湯を戴き10時半過ぎ昨年10月に開通した「宮島弥山」のメインルート「大聖院～仁王門」より「弥山山頂」を目指す。

新旧の石階段が連なる峡谷の険しい「つづらルート」で途中、山歩会の岩崎さん〔愛称：町石博士(宮島パークボランティア会員)〕のガイドで白糸滝・新造成の2つの堰堤・道標の丁石や女郎坂など史跡を巡り、仁王門広場に到着。小休憩後、15分余り山腹の石階段を登り霊火堂・弥山本堂広場へ到着し「錫状の梅・霊火堂」など観覧、更に三鬼大権現・文殊堂・毘沙門天を経て大岩で記念スナップを撮り、昼過ぎ最終登頂地点の「弥山山頂上(535m)」の広場に到達。三角点にタッチ。

好天下で昼食・茶菓子を戴き休憩。展望台から周辺の絶景を暫し満喫、山頂表示板前で集合写真を撮り、山歩会「年間登山計画」につき参加者全員でミーティングを行い、午後1時30分頃下山開始。山腹裏手側の御山神社を経て急傾斜の狭い荒れた木根道を駆け下り、

多々良林道へ出て中腹の「奥の院」へ参拝。

休む間もなく仁王門へ引き返す途中2手に分かれ、体調が悪い当方他1名は、多々良林道(車道)から急傾斜の山頂や御山神社など遠望しながら海岸に出て大元公園を目指してひたすら3キロ余りウォーク。元気な15名は仁王門へ戻り駒ヶ林後方にある焼山に登り、大野灘の絶景を展望して大元公園へ向かい、午後4時半過ぎ桜満開の大元公園にて合流、厳島神社前の干潮の海辺へ降り、安芸大鳥居や神社・五重塔などをバックに記念撮影。安芸大鳥居を真近かに見物出来ラッキーでした。

帰路、「宮島饅頭・チーズ入りもみじ饅頭の元祖店ミヤトヨ」へ立ち寄り、美味しい饅頭とお茶を戴き一服。

参加者全員大満足して、フェリーで17時30分頃宮島口棧橋へ帰着・次回の再会を約束して現地解散致しました。

〔総距離12km、総時間6時間弱(昼食・休憩含)〕



平成あそび隊

歴史(江戸より百有余年)温泉堪能

松岡 良明

平成あそび隊は3月15日(日)快晴の朝、安芸高田市の高宮町「たかみや湯の森」にドライブ&温泉で心身ともにリフレッシュをして来ました。道中、福富のダムを見学。



ダムの水量は増えたがまだ満水には至っていない。時間がかかりそう・・・。

ダム見学の後国道375号を豊栄から向原・神立・吉田・高宮へと車を進めた。

長閑な高宮の田園の中に瀟洒な建物、ここが「たかみや湯の森」。10時からの営業で既に駐車場には多くの車が停まっており、さすが日曜日だと思った。我々も早速入場して入浴を楽しむ。湯船は薬湯・ジェット湯・露天酒湯・サウナとお好みで楽しめる。高宮温泉「たかみや湯の森」は、江戸時代よりその優れた効能が伝わり「知る人ぞ知る湯治場」として近隣より多くの人を集めた湯があり、以来百有余年にわたって「大

仙(だいせん)の湯」として親しまれたようです。

この後、安芸高田市に向かう。

途中で道の駅「北の関宿」に立ち寄り土産店を冷やかす



風呂をあがり、昼食を済ませた後に記念写真

ここの道の駅では、コンビニ「ポプラ」や食堂・北の干物等があり、広い駐車場は「ガラガラ」で日



有名な「百万一心」の碑

牛田 晴雄

「第42回3月大会は西尾弘さんが好成績で優勝を手中に収められた。

08年度最終大会を2009年3月14日(土)第42回ボウリング大会開催した。

3月に入り寒暖の変化が大きく春雨も多く、花粉黄砂との戦いの中、体調管理に大変な日々であるが一日一日春到来を感じ、大会当日参加メンバー全員気分良く会場の賀茂ボールに集結した。

3月大会は今年度5回目であり会員も1、2月実施の月例会を含め日頃の練習成果を遺憾なく発揮できた。

開催スタートは細井リーダーより08年度最後の大会であり全員優勝のチャンスあり元気に激励挨拶した。

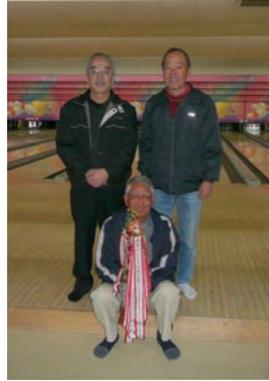


また、大会終了後会場隣の日本海で「同好会総会」を実施し締めくくった。

参加者24名(社友会16名、紅葉会2名、招待会員6名)の参加で大いに盛り上がった。

大会の成績は日頃練習に努力された社友会の西尾さんが優勝を勝ち取られ、拍手で賞賛しました。

成績結果は(優勝)西尾弘さん588点の高得点で優勝された。(準優勝)喜田栄禧さん552点(第三位)堀岡光郎さん541点で優秀な成績を取めた。



上位6位までの成績敬称略(3ゲーム合計点HDCP含む)

ランク	氏名	得点	ランク	氏名	得点
1位	西尾弘	588点	4位	出口起世子	539点
2位	喜田栄禧	552点	5位	小森山光郎	536点
3位	堀岡光郎	541点	6位	川股幸雄	534点

今大会のハイゲーム賞(HDCP含む)は(男子の部)西尾弘さん215点。(女子の部)出口起世子さん191点。今回ノーミス賞は数名の方があと一步という所まで頑張ったが川股幸雄さん1名のみが達成した。今年度最後の3月大会参加者全員の熱意と盛り上がりで、有終の美を飾ることが出来た。

釣り

メバル/大漁ヤリイカ!!

川田 正勝

1. メバル

今回の報告は3月4日にメバル釣りに行きました。メバルは春告げ魚と呼ばれ、2月から4月にかけてよく釣れる魚の代表です。産卵の後、油がのり塩焼き、刺身、煮付けなどどんな料理でも美味しい魚です。

本日は波もなく久しぶりの穏やかな海で、絶好のメバル日和でした。大型より数狙いで、遠くへ行くより近くのポイントを探ることとし、朝6時半に竹原マリンを出航、15分でポイントに着きました。

仕掛けは「カブラ」です餌釣りも有りますが最近カブラがほとんどだそうです。

早速20cm級が釣れました。時々ですがダブルで釣れ、柔らかい竿が大きくしなり弧を描きます。25cm級がかかると外れないかと緊張します。ハリスが細い1号ですから余計ヒヤヒヤし、釣りの醍醐味です。

春のメバル釣りは昼釣りと夜釣りが有ります。昼はカブラ又は餌で釣りますが夜釣りは餌釣りが多です。4月になると暖かくなりますので、夜釣りの方が型も良く楽しいです。夜釣りは夏でもよく釣れますので、昨年も同好会でも行きましたが今年も計画したいです。

今回の釣果ですが大小合わせて20匹~25匹の釣果



でした。多いにこしたことは有りませんがまあまあの釣果でした。

4月もメバル、5月には大型のアジが釣れます。釣りは良いですよ!気軽に参加してください。

2. ヤリイカ

2月4日に御船さんと渡船でイカ釣りに行きました。イカは夜釣りで、早めに行って好ポイントの場所確保。釣れだすのは夕方7時ころからです。

釣り方はスティクに鳥のさき身を巻きます。サヨリでもいいです竿は5.3メートル2号です。浮きは3号の電気浮きです。(2灯がいいです)6時から釣りだして1時間、電気浮きが沈みました。竿を上げるとずっしりと重い感触オスイカです。透明で綺麗なイカです。

この夜は退屈しない程度に釣れました。多い人は100匹も釣りましたが私と御船さんは50匹でした。

3. メバル釣りで大きな外道 !!巨大鯛!!

3月31日蒲刈島にメバル釣りに行きました。

大型メバルが釣れたのは勿論、御船さんが60cmもある大きな鯛を釣り上げました。



初代九州支部長 檜原 繁彦

この度は「hibiki会報発刊50号」を迎えられ、誠に
おめでとうございます。

さて私は、以前、九州分会の設立と、広島で「ゆう
ゆう会」の結成に、有志の皆さんと共に携わって来ま
した。

昔九州の会員は、広島支部の行事には参加が困難で
した。そこで広島支部のご指導を得ながら、九州分会
の結成が必要との気運が高まり、有志4人で結成準備
委員会を作りました。1998年3月に「社友会広島支
部・九州分会結成申請書」を社友会本部に送りご承認
を頂き、1998年6月5日に結成総会を開催致しました。

いよいよ次は支部昇格申請です。2002年2月25日に
「九州分会の支部昇格申請」を社友会本部・幸会長に
提出し、ご承認を頂きました。ここまでが私が有志の
方々と共にやれた全てでした。誠に申し訳ないこと
に、私の長男が難病に侵された為、3月末までに長男
の住む東広島に転居せねばならなくなりました。そこ
で新しい支部長を吉田二八郎さんに急遽お願いし、快
く引き受けて頂きました。

振り返りますと、沢山の方々のお陰で、今日の九州
支部が存在すると思います。社友会本部の方々はもと
より、分会結成では、広島支部の山田支部長・事業部
の藤田総務部長、また支部昇格では広島支部の出口支
部長・事業部の庄野総務部長に大変お世話になりました。

その他、九州の販社を始め、沢山の方々のご協力で
今日の九州支部が存在していることを、九州支部は決
して忘れてはなりません。

なお、私の長男は看護の甲斐もなく、2年前に癌で
他界致しました。（享年43歳）

次に私が携わったのは、広島で「ゆうゆう会」の結
成です。中国地区でお世話になった販社出身のOB会
です。50名程度の方が年に一度広島に集り、今年で6年
目を迎えます。販社出身の者は、八本松の事業部は若
干敷居も高く、また広島周辺に居住していることか
ら、以前の九州の会員と同様に、社友会活動の参加が
困難です。そこで7年前にお世話役（三島・片山・金
子・中村・牛島・児玉・越智さん）の方々と1年かけ
て、中国の販社出身の方々の情報を集めました。また、
中途退社された方の情報も出来る限り収集しまし
た。お世話役の方々のご苦労も大変でした。会の名
称は、悠々・遊友などをもじって「ゆうゆう会」と致
しました。当時、謀反を企んでいると思われるので、
出口支部長に結成理由をご説明したところ、
「要は紅葉会のようなものだ」と云われ、即座にご
了解を得ました。これまでに2回、吉久支部長にご出
席願い、社友会の近況をお話頂き、広島支部との一
体感を高めています。ありがたいことだと心から感謝
しております。前回から山根さんなど、若いお世話役
の方々にも加わって頂き、今年は9月頃に新メニュー
で開催予定です。今でもシャープが大好きな販社OBの
戦友の集まりも、いよいよ6年目を迎えます。



*** お知らせ ***

社友会・紅葉会 合同定期総会のご案内

総会日時 2009年5月22日(金)
午前11時より午後2時頃まで
総会会場 ラポール広島 082-428-2432
懇親会会費 1,500.-
年会費 社友会:平成21年度分 3,000.-
紅葉会: " 1,000.-
総会方式 本年も昨年と同様社友会・紅葉会合同で総会・懇親会を実施いたします

*ご出席可否のご連絡は準備の都合上4月末までにご連絡頂きますようお願い致します

*当日、自家用車でお越しの方は社友会役員又は保安係員の指示に従って第三工場に駐車願います

** 2009年新春年賀会報告 **

さる2009年1月22日シャープ(株)通信システム事業本部多目的ホールにおいて、社友会本部・支部合同の年賀会が開催されました。あわせて、広島支部の年賀会・賀詞交換会も開催いたしました。

*詳細は支部HP行事ニュースをご覧ください。



年頭のご挨拶を述べられる蛇草会長

本年度の方針を発表される片山社長

片山社長の方針発表に聞き入る広島支部の皆さん



年頭のご挨拶を述べられる吉久支部長

沖縄旅行の写真パネルをご覧になる皆さん

ご歓談される皆さん

新入会員の紹介

平成21年1月1日～3月末までの入会者 敬称略

清 政幸	No. 4427	SEK 品質サポート部
山本 達雄	No. 4428	化合物半導体S(事) 企画部
八重垣民枝	No. 4429	高周波デバイス(事) 基板事業推進部
吉房 幸治	No. 4430	化合物半導体S(事) 第2技術部
中尾 英一	No. 4431	要素技術開発C デバイス開発部
日野 輝史	No. 4448	AV要素技術開発C 特許開発部
山路 照司	No. 4469	SEK 中・四国サービス統轄部
岡 俊夫	No. 4470	通信システム(事本) 資材部
村田 泰治	No. 4471	CS推進本部 品質戦略室
福安 昭仁	No. 4472	移動体通信C 第1商品企画部
田畑 寛典	No. 4482	通信システム(事本) 資材部
池田 弓子	No. 4483	電子D(事本) LED(事) 技術部
岩邊 輝一	No. 4495	通シ IP通信(事) 海外MK部
上杉 雅	No. 4521	SEK サービス推進部 西日本P発注
新田美保子	No. 4522	通信システム(事本) 第1生産部
桐本 順吉	No. 4523	移動体通信C 生産技術部
福田 研二	No. 4524	AV海外生産(事) 原価確信PT
高橋 章	No. 4525	通信システム(事本) 第1生産部

3月末現在 広島支部会員数 317名

3月16日現在シャープ社友会会員合計	4,000名				
本部	2,679名	栃木	302名	東京	508名
広島	317名	九州	106名	東北	88名

広島支部行事予定 4～6月

4月17日	定例役員会
4月23日	春季日帰り旅行
5月22日	社友会広島支部・紅葉会定期総会
6月26日	定例役員会

編集後記

Hibiki50号発行に関し、さまざまな方々から情報提供頂き誠にありがとうございました。紙面上ではございますがお礼申し上げます。



2009年 社友会広島支部&紅葉会 合同新春年賀会
2009年1月22日 於: シャープ(株)通信システム事業本部多目的ホール